

【中学生部門】優良賞

家族

太田市立綿打中学校 2年 大島 宥柚

こんにちは。十四歳の私です。十年後、二十年後の私はどんな人ですか。どんな存在になっていますか。今、楽しいですか。

私は失敗ばかりで、ちよつとしたことですぐに泣きそうになったり、頭もたいして良くないし、かといって運動ができるわけでもなく好きなものはアニメやゲームといった完璧なインドア派です。

こんな私の旦那や子供になってしまった君たちは大変ですね。それでもなお、まだまだ足りない私を支えてくれると嬉しいですよ。

さて、まずはまだ見ぬ未来にいる私の旦那へ向けて伝えたいことがあります。私にはお父さんがいません。なので普通の家族の在り方を知りません。運動会や発表会に来て欲しい、初めて賞をとった絵を見せたい、学校で起こったことを話したいと子供ながら思っていた頃もありました。

小学校高学年になり、友達が父親の話をしていて疎外感を感じながらも話をしていると一人の友達が、

「宥柚の方はどんな感じなの？」

と良心で聞いてくれました。自分に父がいないことを軽く告げると皆が嫌になるくらい気を使って謝ってきたことがありました。

この時、皆が優しいことが痛いくらいに伝わったことと、気を使わせて悪いな、と申し訳ない気持ちで一杯でした。

子供たちにはこんな寂しい思いよりも、両親そろってご飯を食べられる楽しい思いをしてほしいです。

そんな普通の家族を目指したいと思うので、知らないことをたくさん教えてください。よろしく願います。

子供たちに伝えたいこと、たくさんあるけれど一つ絶対に忘れないでほしいことがあります。

それは、人や物あらゆる事に感謝を忘れないこと。全ての事に感謝なんて難しいかもしれないけれど、小さなこと一つひとつに感謝の気持ちを込めてほしいです。

「ありがとう」

たった五文字で気持ちが伝わり、相手も自分も幸せになれる言葉だと思えます。

君たちが優しい人に育ってくれればそれで充分私は幸せです。

最後に、「良いお母さん」「良い奥さん」になれるか不安がたくさんあるけれど、あなたたちの家族として一緒に過ごせる日まで頑張ります。待っていて下さい。